

会報 比 じ

平成20年10月1日発行
第12号
発行：虹の会事務局
中条公民館内
電話 752-2748

夏交流に田口市長から参加いただきました

夏交流2日目。公務多用の中、田口直人十日町市長が夏交流に参加をいただきました。

気温38℃を越す猛暑の中、山手小と中条小の児童や我々引率者と一緒に白桃を収穫し、岡山県特産の白桃をみんなていただきました。

今回の虹のかけはし第24号では、田口市長からも寄稿していただいております。ぜひご覧ください。



＜桃園にて、向かって右が総社市長＞

初心、忘れることなかれ

中条虹の会会長 田村 清晴

会員の皆様には当会にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

今年も虹の会ご協力のもと、12回目の山手交流を無事に行うことができました。今号の会報では、この交流の始まりや趣旨を記したいと思えます。その上でこの交流が、子供たちにとってどういう体験になるのか、成長していく過程で何が必要なのかを考えてみたいと思えます。

やまて・十日町中条交流のはじまりは平成9年、当時の文部省生涯学習青年交流事業の一環として提案された事業からでした。

1. 事業名：国内青少年交流事業（異なる地域間の交流）

2. 事業の趣旨

- (1) 南国と雪国の交流を通して文化や自然、生活様式などの違いを学習すると共に、自分たちが住む地域をよりよく理解し、明るい地域づくりに貢献する青少年を育成し郷土愛を育てること。